

2026 年度 名古屋大学大学院教育発達科学研究科
博士前期課程 高度専門職業人養成コース 学生募集要項
〔第 1 期試験〕

【アドミッションポリシー】

(1) 入学者受入れの方針

本研究科は、人間の成長発達と教育をめぐるさまざまな問題を研究の対象とする、教育科学および心理発達科学における理論と方法を考究することによって、教育と人間発達の諸課題に対する高度な専門的知見と卓越した研究遂行能力を有し、人間と社会の諸問題に絶えず関心をよせ、勇気と熱意をもって向き合い、問題解決のために協働的に取り組むことのできる人材、さらには、社会的正義の感覚を有し、人類と社会の調和的発展とウェルビーイングに貢献できる人材の育成を目的としています。

上記の目的を理解したうえで本研究科への入学を志望する者には、次のような資質や能力を有することが求められます。

教育科学専攻

- 1) 教育科学、また隣接する経験諸科学に関する高度な専門的知識とリサーチスキルを身につけるために必要な基礎的学力
- 2) 論理的批判的思考力と判断力、協働的コミュニケーション能力、科学的探究の精神と熱意
- 3) 先端的な教育科学研究を先導し、教育と人間発達の諸課題に意欲的に取り組もうという姿勢

心理発達科学専攻

- 1) 心理発達科学に関する高度な専門的知識とリサーチスキルを身につけるために必要な基礎的学力
- 2) 論理的批判的思考力と判断力、協働的コミュニケーション能力、科学的探究の精神と熱意
- 3) 先端的な心理発達科学研究を先導し、教育と人間発達の諸課題に意欲的に取り組もうという姿勢

(2) 選抜の基本方針

教育科学専攻

一般コース（アカデミック・ディグリー・プログラム）

教育科学、また隣接する経験諸科学に関する高度な専門的知識とリサーチスキルを身につけるために必要な学力、論理的批判的思考力と判断力、協働的コミュニケーション能力、科学的探究の精神と熱意、先端的な教育科学研究を先導し、教育と人間発達の諸課題に意欲的に取り組もうという姿勢を評価するために、これまでの研究成果と入学後の研究計画に関する書類審査、口述試験及び外国語試験を実施します。

高度専門職業人養成コース（プロフェッショナル・ディグリー・プログラム）

教育科学、また隣接する経験諸科学に関する高度な専門的知識とリサーチスキルを身につけるために必要な学力、論理的批判的思考力と判断力、協働的コミュニケーション能力、科学的探究の精神と熱意、先端的な教育科学研究を先導し、教育と人間発達の諸課題に意欲的に取り組もうという姿勢を評価するために、これまでの研究成果、社会人としての経験と入学後の研究計画に関する書類審査、口述試験及び外国語試験を実施します。

心理発達科学専攻

一般コース

心理発達科学に関する高度な専門的知識とリサーチスキルを身につけるために必要な学力と論理的批判的思考力と判断力を評価するため、これまでの研究成果と進学（入学）後の研究計画について書類による提出を求めるとともに、筆記試験を実施します。また、協働的コミュニケーション能力、科学的探究の精神と熱意および先端的な心理発達科学研究を先導し、教育と人間発達の諸課題に意欲的に取り組もうという姿勢を評価するため、口述試験を実施します。

高度専門職業人養成コース

心理発達科学に関する高度な専門的知識とリサーチスキルを身につけるために必要な学力と論理的批判的思考力と判断力を評価するため、これまでの研究成果と進学（入学）後の研究計画について書類による提出を求めるとともに、筆記試験を実施します。また、協働的コミュニケーション能力、科学的探究の精神と熱意および先端的な心理発達科学研究を先導し、教育と人間発達の諸課題に意欲的に取り組もうという姿勢を評価するため、口述試験を実施します。

海外学位取得者特別選抜

心理発達科学に関する専門的知識と知見および、特定の専門領域における研究遂行能力と論理的批判的思考力と判断力を評価するため、これまでの研究成果と入学後の研究計画について書類による提出を求めます。また、協働的コミュニケーション能力、科学的探究の精神と熱意および心理発達科学研究を先導し、教育と人間発達の諸課題に意欲的に取り組もうという姿勢を評価するため、口述試験を実施します。

本研究科の出願手続きでは、インターネット出願を利用しています。出願に必要なパソコンやプリンター等の機器、メールアドレス、顔写真データ、支払方法、提出書類等を確認してから出願してください。また出願前には、マイページ登録が必要なため、時間には余裕を持って出願を行ってください。なお、インターネット出願時に登録されたメールアドレスには、大学から入学試験に関する重要なお知らせが配信されることがありますので、変更や削除の可能性がなく、日常的に確認できるメールアドレスを準備してください。

1. 本研究科博士前期課程 高度専門職業人養成コースの概要

この高度専門職業人養成コースは一定の職業経験や社会的活動の経験を有する者を対象とするもので、以下の専攻、研究コース、分野からなる。

専攻	研究コース	分野
教育科学専攻	生涯学習研究コース	生涯学習開発分野
		学校科学臨床分野
		高等教育マネジメント分野
		生涯スポーツ科学分野
心理発達科学専攻	心理開発研究コース	心理行動科学分野
		スポーツ行動科学分野
	心理臨床研究コース	心理臨床科学分野

修了者には、修士（教育）、修士（心理学）又は修士（臨床心理学）の学位（Master of Arts）を授与する。心理臨床研究コースは、公認心理師法施行規則が定める大学院の指定科目を開講している。

出願者は、志望する研究コースをひとつだけ、インターネット出願時に選択すること。

2. 出願資格

出願できる者は、次の各号の一に該当する者で、かつ、各研究コース毎に定める条件を満たすものとする。
次の各号の一に該当する者

- (1) 大学を卒業した者及び2026年3月末日までに卒業見込みの者（大学とは、我が国の学校教育法第83条に定める大学（修業年限が4年以上の大学）をいう。）
- (2) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び2026年3月末日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2026年3月末日までに修了見込みの者
- (5) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2026年3月末日までに授与される見込みの者
- (6) 学校教育法第104条第7項の規定により独立行政法人大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び2026年3月末日までに授与される見込みの者
- (7) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了した

ものとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2026年3月末日までに修了見込みの者

- (8) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2026年3月末日までに修了見込みの者
- (9) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2026年3月末日までに22歳に達する者

注) 出願資格(9)により出願する者は、16頁を参照し、名古屋大学大学院教育発達科学研究科入試担当あてに **2025年7月18日(金)【必着】**で必要書類を提出すること。

各研究コースの出願条件

- (1) 生涯学習研究コース：入学時に3年以上の職業経験または社会的活動の経験を有する者
- (2) 心理開発研究コース：入学時に3年以上の職業経験または社会的活動の経験を有し、心理学系もしくは体育学系の学部・学科・専攻を卒業した者もしくは2026年3月末日までに卒業見込みの者、またはこれと同程度の専門知識を有する者
- (3) 心理臨床研究コース：入学時に3年以上の職業経験または社会的活動の経験を有し、心理学系の学部・学科・専攻を卒業した者及び卒業見込の者で、心理学系科目の単位を出願時に20単位以上取得した者

3. 募集人員

本研究科の高度専門職業人養成コースを含む博士前期課程全体の入学定員は、第1期入試と第2期入試を合算して、教育科学専攻が32名、心理発達科学専攻が22名となっている。

専攻／研究コース(分野)	募集人員
教育科学専攻 生涯学習研究コース (生涯学習開発, 学校科学臨床, 高等教育マネジメント, 生涯スポーツ科学)	各分野 若干名
心理発達科学専攻※ 心理開発研究コース(心理行動科学, スポーツ行動科学) 心理臨床研究コース(心理臨床科学)	各分野 若干名

※ 心理発達科学専攻における合否判定は、心理行動科学、スポーツ行動科学、心理臨床科学の分野ごとに行われる。

4. 出願書類 ※出願書類等には、提出する証明書等に記載された氏名を用いること。

インターネット出願システムでの出願登録及び入学検定料の支払いを行った後、所定の期間内に次の書類を提出することにより手続きは完了する。出願の流れについては、本要項内の「インターネット出願の流れ」を参照すること。[様式1]～[様式4]は、本研究科のウェブサイト(<https://www2.educa.nagoya-u.ac.jp/admission/gs-exam/>)よりダウンロードし、A4サイズ用紙に片面印刷のうえ記入すること。

(1) 名古屋大学大学院 志願票及び写真票

インターネット出願システムから出力されたものを、A4サイズで片面カラー印刷し、提出すること。

※出願前3か月以内に撮影した正面向き、上半身、無帽、背景なしの顔写真データ(2MBまで)を用意し、

インターネット出願システムからアップロードすること。

(2) 名古屋大学大学院 教育発達科学研究科 志願票【様式1】

所定の様式を A4 サイズ用紙に片面印刷し、提出すること。

(3) 卒業（見込）証明書

卒業（見込）大学等発行の証明書（原本）を提出すること。コピーは受け付けない。修士課程以上の卒業者也学部卒業証明書を提出すること。ただし、名古屋大学教育学部既卒者または卒業見込者は提出を要しない。

氏名変更等により、証明書に記載の氏名と現在の氏名とが異なる場合、それを証明できる書類（戸籍抄本等）を併せて提出すること。

出願資格（6）により出願する者は、学位取得（見込）証明書を提出すること。

なお、海外の大学等を卒業した者は、日本の学士に相当する学位を取得したことを証明するものを提出すること。

また、中国の大学卒業者は、卒業（見込）大学等発行の卒業（見込）証明書及び日本の学士に相当する学位を取得したことを証明するものを提出するとともに、以下のとおり提出すること。

・既卒者の場合：以下を提出

「中国高等教育学生信息网（CHSI）」が発行する「Online Verification Report of Higher Education Degree Certificate」（英語版）を A4 サイズ用紙に印刷したもの

・卒業見込者の場合：以下を提出

「中国高等教育学生信息网（CHSI）」が発行する「Online Verification Report of Student Record」（英語版）を A4 サイズ用紙に印刷したもの

※発行に時間がかかる場合もあるため、手続きは早めに行うこと。なお、手続きの詳細については、中国高等教育学生信息网（CHSI）のウェブサイトを確認すること。

※学位証書に関する取り扱いに変更が生じた場合は、提出書類を変更する可能性がある。その場合は別途指示する。

(4) 成績証明書

心理臨床研究コース志願者のみ、卒業（見込）大学等発行の証明書（原本）を提出すること。ダブルディグリープログラムの方は両方の大学の成績証明書を出すこと。コピーは受け付けない。修士課程以上の卒業者也学部の成績証明書を提出すること。

証明書は大学学部の全学期が記載されたものを提出すること。ただし、名古屋大学教育学部既卒者または卒業見込者は提出を要しない。また大学に編入学している場合は、編入学前の大学等が発行する証明書（原本）も併せて提出すること（名古屋大学教育学部に3年次編入した者は編入学前の大学等が発行する証明書（原本）の提出が必要となる）。

(5) これまでの研究テーマとその成果の概要【様式2】

生涯学習研究コースを志望する者のみ、所定の様式を A4 サイズ用紙に片面印刷し、約 2,000 字で記述し、4 部提出すること。複写可。

(6) 研究・学修計画【様式3】

所定の様式を A4 サイズ用紙に片面印刷し、提出すること。

(ア) 生涯学習研究コース

本研究科での研究・学修計画を、約 2,000 字で記述し、4 部提出すること。複写可。なお、希望するコースの内容に関係ある研究論文、報告書などがあるものは、それを添付することができる。各 4 部提出するものとする。複写可。

(イ) 心理開発研究コース／心理臨床研究コース

希望するコースにおける入学後の研究・学修計画（応募の動機、主として学修・研究したい内容、学

修内容を修了後どのように活かしたいか、等)を、約2,000字で記述し、6部提出すること(英文での提出も可能。ただし、約800単語で記述すること)。

なお、希望するコースの内容に関係ある研究論文、報告書などがあるものは、それを添付することができる。各6部提出するものとする。複写可。

(7) 職務および社会的活動説明書 [様式4]

所定の様式をA4サイズ用紙に片面印刷し、生涯学習研究コースにあつては4部提出すること。心理開発研究コース及び心理臨床研究コースにあつては6部提出すること(英文可)。

(8) 国籍、在留資格及び在留期間を確認できるもの ※日本国籍を有しない者のみ提出

・(日本国内に在住する者)

住民票の写しまたは在留カード(両面)のコピーを提出すること。住民票の写しの場合は、「在留資格」、「在留期間」、「在留期間満了日」が記載された「個人番号(マイナンバー)」の記載のない住民票の写し(発行日から3ヶ月以内のもの)を市区町村役場で取得し提出すること(発行時に申し出が必要)。

・(日本国外に在住する者)

パスポート(顔写真のある頁)のコピーを提出すること。

5. 入学検定料(30,000円)の支払い方法

インターネット出願時に支払いを完了させること。検定料のほかに所定の支払手数料が必要。誤って「検定料の免除について」の「該当する」を選択し、入学検定料を支払わずに出願した場合は受理しない。詳細は本要項の「インターネット出願の流れ」の「STEP 5 (入学検定料の支払い)」を参照すること。

支払い上の注意事項

- ① 支払い期限は出願登録日を含め4日間である。支払い期限内に入金がない場合は、出願登録は自動的にキャンセルとなるのでご注意ください(キャンセルとなったときは再登録すること)。

※インターネット出願期日が支払い期限よりも早く到来する場合は、インターネット出願の受付期日が支払い期限になる。

- ② 国費留学生の場合「国費外国人留学生証明書」をもって入学検定料に代える。なお、本学で国費留学生として在籍している者は、「国費外国人留学生証明書」の提出は不要。インターネット出願時に必ず「検定料の免除について」で「該当する」にチェックを入れること。

- ③ 入学検定料の返還について

出願書類を受理した後は、納入済みの入学検定料は返還しない。ただし、以下に該当する場合は、納入された入学検定料を返還する。なお、返還にかかる振込手数料は差し引かれる。

ア 入学検定料納入後、出願しなかった場合又は出願が受理されなかった場合

イ 入学検定料を二重に払い込んだ場合

※入学検定料の返還は銀行振込で行われる。海外の銀行の口座に返還する場合には、返還される金額は大きく減額される他、返還に多大な日数を要するため、入学検定料の納入は慎重に行うこと。返還請求方法については、名古屋大学ウェブサイト(<https://www.nagoya-u.ac.jp/>)→「入学案内」→「入試情報を知りたい」→「大学院入試」→「入学検定料の支払いについて」を参照すること。

6. 願書受付期間

インターネット出願受付期間

2025年7月14日(月)～7月30日(水) 15時

郵送受付期間

2025年7月28日(月)～8月1日(金) 16時

【受付方法】 郵送のみ	インターネット出願システムから出力される「出願用宛名用紙」をカラーで印刷し、封筒に貼りつけて、4. の出願書類を封入の上、必ず書留郵便（海外からは追跡できる方法）とし、上記郵送受付期間内に必着のこと。出願書類の持参及びメールでの出願は受け付けない。期間後到着分及び出願書類に不備がある場合は受理しないので注意すること。
----------------	---

出願上の注意事項

- ① インターネット出願は、願書受付そのものより早く締め切るため注意すること。なお、インターネット出願が完了しても、出願完了にはならない。インターネット出願後に出願書類を必ず郵送すること。
- ② 出願書類として求められる文章等を生成 AI により作成することは認めない。
- ③ 本研究科が受理した出願書類を、受理後に訂正することは認めない。
- ④ 本研究科の博士前期課程（高度職業人養成コース）と博士前期課程（一般コース）に同時に出願することはできない。
- ⑤ 理由のいかんにかかわらず、出願書類及び入学検定料は返還しない。

7. 選抜方法

- (1) 入学者の選抜は出願書類による出願資格等の審査及び学力試験により行う。受験票はインターネット出願システムを通して通知するので、印刷して持参し、入学手続きを完了するまで保存すること。
- (2) 学力試験は筆記及び口述により行う。とくに指示がある場合を除き、日本語により解答するものとする。なお、心理発達科学専攻においては、筆記試験の結果に基づき、第1次の合否判定を行う。この判定で合格となった者のみ、口述試験を受験できる。この口述試験の受験者に対して、最終的な合否判定を行う。
- (3) 学力試験の科目及び実施方法

1) 生涯学習研究コースの学力試験

(ア) 期日・時間割・学力試験の科目

期日	時間	学力試験の科目
2025 年 9 月 17 日(水)	10:00～10:40	筆記試験（外国語）
	13:00～	口述試験
2025 年 9 月 18 日(木)	10:00～	
2025 年 9 月 19 日(金)	10:00～	

口述試験の時程表は、2025 年 9 月 4 日（木）に本研究科ウェブサイトの入試・募集情報ページ上に掲示する。なお、口述試験の日時に関して、受験者の個別の要望には応えない。

(イ) 学力試験の科目

① 筆記試験（外国語）

英語又は日本語のいずれか受験者が選択した自国語以外の言語について、一般教養的語学力を筆記により試験する。試験においては冊子体の語学辞書 1 冊の持ち込みを認める。なお、文献の大意を理解することができる程度の語学力を筆記により試験する。

② 口述試験

これまでの研究成果、研究・学修計画を含む研究事項、職務及び社会的活動、及び研究・学修計画の遂行に必要な学力について行う。

(ウ) 判定の方法及び基準

- ・ 筆記試験（外国語）：本研究科のアドミッションポリシーに基づき、教育科学、また隣接する経験諸科学に関する高度な専門的知識とリサーチスキルを身につけるために必要となる基礎外国語力（英語又は日本語）及び、外国語文献（英語又は日本語）の読解力を評価する。
- ・ 書類審査及び口述試験：本研究科のアドミッションポリシーに基づき、教育科学、また隣接する経

験諸科学に関する高度な専門的知識とリサーチスキルを身につけるために必要な学力，論理的批判的思考力と判断力，協働的コミュニケーション能力，科学的探究の精神と熱意，先端的な教育科学研究を先導し，教育と人間発達の諸課題に意欲的に取り組もうという姿勢を評価するために，これまでの研究成果，社会人としての経験，と入学後の研究計画に関する書類審査及び口述試験を実施する。口述試験において，提出書類の内容について説明を求め，その内容に関する質疑を行ったうえで，総合的に評価する。

(エ) 受験上の注意事項

- ① 口述試験では出願書類 (5)，(6) 及び (7) の内容について質問することがあるので，それらの写しを持参すること。また，口述に際して，それらを参照することができる。
- ② 筆記試験については，試験開始 15 分前までに入室すること。未受験の受験科目が生じた場合，それ以降のすべての試験を受験できない。
- ③ 口述試験の際は各自の試験開始時刻 15 分前までに控室で待機すること。口述試験に 15 分以上遅刻した者は，口述試験を受験できない。
- ④ 試験開始後は，終了時刻まで退室することはできない。
- ⑤ 携帯電話は，試験室に入る前にアラーム設定を解除し電源を切ってかばん等に入れておくこと。
- ⑥ 試験場には時計がないので，必要な者は時計を持ち込んでもよい。ただし，時計は計時機能のものに限る。
- ⑦ 特別に許可された場合を除き，試験時間中に以下の機器等を使用した場合は不正行為となる。
携帯電話，PC，スマートフォン，ウェアラブル端末（スマートグラス，スマートウォッチなど），タブレット端末，電子辞書，IC レコーダー，イヤホン※，音楽プレーヤー，電卓等の電子機器類
※イヤホンについては，耳に装着していれば使用しているとみなす。
- ⑧ 不正行為を行った場合，その場で受験の中止と退室が命じられ，それ以後の受験はできなくなる。また，受験したすべての科目の成績を無効とする。なお，不正行為については，状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合がある。

2) 心理開発研究コース／心理臨床研究コースの学力試験

(ア) 期日・時間割・学力試験の科目

期日	時間	学力試験の科目
2025 年 9 月 18 日 (木)	9:00～10:00	筆記試験 (外国語)
	10:30～12:00	筆記試験 (専門科目)
2025 年 9 月 19 日 (金)	9:00～	口述試験

第 1 回の合否判定結果及び口述試験の日程表は，2025 年 9 月 18 日 (木) 21:00 までに本研究科玄関に掲示するとともに，受験者の便宜を考慮し，本研究科ウェブサイトの入試・募集情報ページ上に掲示する。なお，口述試験の日時に関して，受験者の個別の要望には応えない。

(イ) 学力試験の科目

① 筆記試験 (専門科目)

心理開発研究コースの心理行動科学分野または心理臨床研究コースを志望する者は，心理発達科学を，心理開発研究コースのスポーツ行動科学分野を志望する者はスポーツ行動科学を選択する。

・心理発達科学：計量心理学，認知心理学，教授・学習心理学，パーソナリティ心理学，社会心理学，生涯発達心理学，臨床心理学，家族心理学，学校心理学，発達精神科学について出題する。

心理開発研究コースの心理行動科学分野または心理臨床研究コースを志望する者は，共通問題（心理学研究法，統計を含む）1 問，選択問題（心理行動科学領域および臨床心理学領域）4 問中 2 問，

計3問に回答すること。これにより、心理行動科学、および心理臨床科学における研究に必要な能力について試験をする。

・スポーツ行動科学：スポーツ心理学、運動学習科学について出題する。これにより、スポーツ行動科学における研究に必要な能力について試験をする。

② 筆記試験（外国語）

・心理行動科学分野、心理臨床科学分野及びスポーツ行動科学分野の3分野にかかわる英語力について試験する。辞書の使用（冊子体の語学辞書1冊に限る。「英和・和英」等、2冊分の機能のあるものは認めない。）を可とする。

③ 口述試験

・口述試験は、主として研究・学修計画について行う。

（ウ）判定の方法及び基準

・筆記試験：本研究科のアドミッションポリシーに基づき、心理発達科学に関する高度な専門的知識とリサーチスキルを身につけるために必要な基礎的学力を筆記試験（外国語・専門科目）により総合的に評価する。

・書類審査および口述試験：本研究科のアドミッションポリシーに基づき、心理発達科学に関する高度な専門的知識とリサーチスキルを身につけるために必要な学力と論理的批判的思考力と判断力を提出書類により評価する。また、協働的コミュニケーション能力、科学的探究の精神と熱意および先端的な心理発達科学研究を先導し、教育と人間発達の諸課題に意欲的に取り組もうという姿勢を口述試験により評価したうえで、総合的に選抜を行う。

（エ）学力試験の特例について

心理開発研究コース／心理臨床研究コースを志望する受験者が、以下のいずれかに該当する場合は、筆記試験（専門科目）においても冊子体の語学辞書1冊（「英和・和英」等、2冊分の機能のあるものは認めない。）を使用することを認める。ただし、口述試験での辞書の使用は認めない。

- ① 日本国以外の国籍を有する者であって、日本語が母語または日常的に使用する言語ではないと認められる者。
- ② 日本国の国籍を有する者であって、学歴等から日本語が母語または日常的に使用する言語ではないと認められる者。

この特例により受験することを希望する者は、出願の際に様式5により申請すること。特例により受験することの可否について審査し、その結果は8月下旬頃に出願時に入力したメールアドレスあてに通知する。

（オ）受験上の注意事項

- ① 口述試験では出願書類（6）及び（7）の内容について質問することがあるので、それらの写しを持参すること。また、口述に際して、それらを参照することができる。
- ② 未受験の科目が生じた場合は、口述試験を受験できない。また、各科目の試験開始15分前までに入室すること。
- ③ 口述試験日は各自の試験開始時刻15分前までに控室で待機すること。また、口述試験に15分以上遅刻した者は、口述試験を受験できない。
- ④ 試験開始後は、各科目の終了時刻まで退室することはできない。
- ⑤ 携帯電話は、試験室に入る前にアラーム設定を解除し電源を切ってかばん等に入れておくこと。
- ⑥ 試験場には時計がないので、必要な者は時計を持ち込んでもよい。ただし、時計は計時機能のみのものに限る。

- ⑦ 特別に許可された場合を除き、試験時間中に以下の機器等を使用した場合は不正行為となる。携帯電話、PC、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートグラス、スマートウォッチなど）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン※、音楽プレーヤー、電卓等の電子機器類
※イヤホンについては、耳に装着していれば使用しているとみなす。
- ⑧ 不正行為を行った場合、その場で受験の中止と退室が命じられ、それ以後の受験はできなくなる。また、受験したすべての科目の成績を無効とする。なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合がある。

（４）試験実施場所

試験は名古屋大学大学院教育発達科学研究科（教育学部本館）において実施する。詳細は、試験当日、本研究科玄関に掲示する。

8. 合格者発表

2025年9月24日（水）17：00頃、本研究科玄関に掲示するとともに、後日、インターネット出願時に登録した住所宛てに、合格者のみに通知する。なお、受験者の便宜を考慮し、玄関掲示以降、次のウェブサイトにも掲示する予定であるが、あくまで、本研究科玄関の掲示を正式な合格者発表とする。

<https://www2.educa.nagoya-u.ac.jp/admission/>

9. 入学手続

2026年3月初旬頃、郵送により合格者に通知する。出願時に入力した住所より変更がある場合は、2026年2月下旬までに教育発達科学研究科入試担当に連絡すること。

10. 学生納入金

入学料 282,000円（予定額）

授業料（年額） 535,800円（予定額）

〈注〉

- ① 入学時及び在学中に学生納入金の改定が行なわれた場合には、改定時から新たな納入金額が適用される。
- ② 入学手続時に入学料（282,000円）を納入しなければならない。
- ③ 授業料の納入については、別途通知する。

11. その他

（１）（障害のある者等の出願）障害等があつて試験場での特別な配慮を必要とする者にあつては、2025年7月18日（金）【必着】で、以下3点を教育発達科学研究科入試担当まで提出すること。

- ① 受験上の配慮申請書（障害の状況、受験上配慮を希望する事項とその理由等を記載したもの（様式随意，A4サイズ））。
- ② 障害等の状況が記載された医師の診断書、障害者手帳等（写しでもよい）。
- ③ 障害等の状況を知っている第三者の添え書（専門家や出身学校関係者などの所見や意見書）。

なお、必要に応じて、適宜それ以外の書類を添付しても構わない。また、受験や入学後の修学に関して相談の希望がある者は、出願期限までに問い合わせること。

（２）（個人情報の取り扱い）出願にあたって提供された氏名等個人情報は、入学者選抜、合格発表、入学手続き業務に使用する。取得した個人情報は適切に管理し、利用目的以外には使用しない。

（３）長期履修学生制度について

教育発達科学研究科では、長期履修学生制度を定めている（2022年度から導入）。

長期履修学生制度とは、職業を有している等の事情により時間的制約があり、標準修業年限では卒業・修了が困難な学生に対して、修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、学位取得することを認める制度である。詳細は、本研究科ウェブサイトを確認すること。

(4)「外国為替及び外国貿易法」に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化について

2021年11月「外国為替及び外国貿易法」(外為法)に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関による教職員及び学生への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となったことに伴い、本学に出願の際は、「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」の提出が必要となる。また、合格時に「誓約書」の提出が必要となる場合がある。

「類型該当性の自己申告書」及び「類型該当判断のフローチャート」

https://mado.adm.nagoya-u.ac.jp/form1_export-control_jp

原則として人文・社会科学の研究のみに関わる場合は不要である。

例外として理科学系分野との融合領域に関わる場合のみ、上記フローチャートに基づき対応すること。

自身の判断で提出すること。なお、不明な場合は下記に問い合わせること。

名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部 安全保障輸出管理事務局

E-mail : anzen@aip.nagoya-u.ac.jp TEL : 052-747-6702

「類型該当性の自己申告書」が出願締切日に間に合わない場合は、準備でき次第提出し、その他の出願に必要な書類は、必ず出願締切日に提出すること。

名古屋大学(東海国立大学機構)では、「外国為替及び外国貿易法」に基づく安全保障輸出管理制度により、「東海国立大学機構安全保障輸出管理規程」(以下「規程」という。)を定め、貨物の輸出、技術の提供(人の受入を含む)について厳格な審査を実施しています。規程に抵触する場合は、入学試験の選抜に合格しても入学が認められない又は入学後の研究活動等に制限がかかることがありますので、ご留意ください。詳細については、以下のウェブサイトを参照願います。なお、該当者には、個別に通知します。また、この場合も既納の検定料は返還しません。

<https://www.aip.nagoya-u.ac.jp/securityexport-extramural>

2025年5月発行

名古屋大学大学院教育発達科学研究科 入試担当

〒464-8601 名古屋市千種区不老町 B4-4 (700)

TEL: 052-789-2606

Email: educa@t.mail.nagoya-u.ac.jp

インターネット出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです



STEP

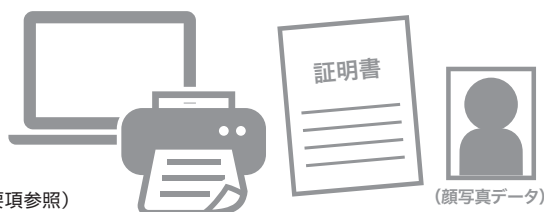
1



事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。
必要書類※は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※必要書類…顔写真データ、各種証明書(※詳細は各研究科学生募集要項参照)



(顔写真データ)

STEP

2



インターネット出願サイトにアクセス

インターネット出願サイト ▶ <https://e-apply.jp/ds/nagoya-gs/>



STEP

3



マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。



①初めて登録する方は
マイページ登録 から
ログインしてください。



②メールアドレスの登録を行って
仮登録メールを送信 を
クリックしてください。



③ユーザー登録画面から
ログインページへ を
クリックしてください。



④登録したメールアドレスに
初期パスワードと
本登録用URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメール
を受信できるように設定してください。



⑤ログイン画面から
登録したメールアドレスと④で
届いた『初期パスワード』にて
ログイン を
クリックしてください。



⑥初期パスワードの変更を
行ってください。



⑦表示された個人情報を入力して
次へ を
クリックしてください。



⑧個人情報を確認して
この内容で登録する を
クリックしてください。



⑨登録完了となります。
マイページへ
をクリックしてください。



⑩上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中のみ、**出願手続きを行う** ボタンをクリックすると出願手続に進めます。
出願受付期間外の場合は、これより先に進めませんので **ログアウト** ボタンをクリックしてください。

STEP

4

出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



①マイページログイン後の
出願手続きを行う ボタン
から登録画面へ



②研究科の選択



③入試区分と留意事項の確認



④出願専攻等の選択



⑤顔写真のアップロード
写真選択へ ボタンをクリックし
写真を選択します。



⑥個人情報(氏名・住所等)の
入力



⑦出願内容の確認
志願票(サンプル) ボタンを
クリックすると志願票、写真票、宛名シート
が確認できます。

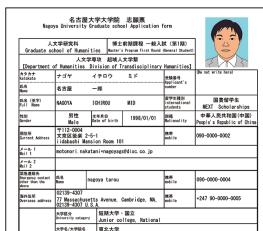


⑧申込登録完了
引き続き支払う ボタンを
クリックし検定料のお支払い画面へ。



お支払い期限は申込日を含め4日間
です。ただし、Web出願締切がそれ
よりも早く到来する場合、Web出願締切
が期限となります。

⑨入学検定料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ペイジー対応銀行ATM
●ネットバンキング ●クレジットカード



⑩出願に必要な書類PDF
(イメージ)
※検定料納入後に出力可能となります。

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の
選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエ
ンスストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号
メモ(13桁)

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済
番号メモ(11桁)

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号
メモ(11桁)

確認番号
メモ(6桁)

収納機関番号
(5桁) **5 8 0 2 1**

※収納機関番号は、ペイジーで
お支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を
許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



入学検定料支払い後は、登録内容の修正・変更ができませんので、入学検定料支払い前に必ず登録内容を確認し、誤りがあれば、再度登録してください。

※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

入学検定料の支払い

お支払い期限は申込日を含め4日間です。

ただし、Web出願締切がそれよりも早く到来する場合、Web出願締切が期限となります。

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

●店頭端末を利用して支払い可能



Loppi



マルチコピー機

あなたも、コンビニ、
FamilyMart各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、
内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

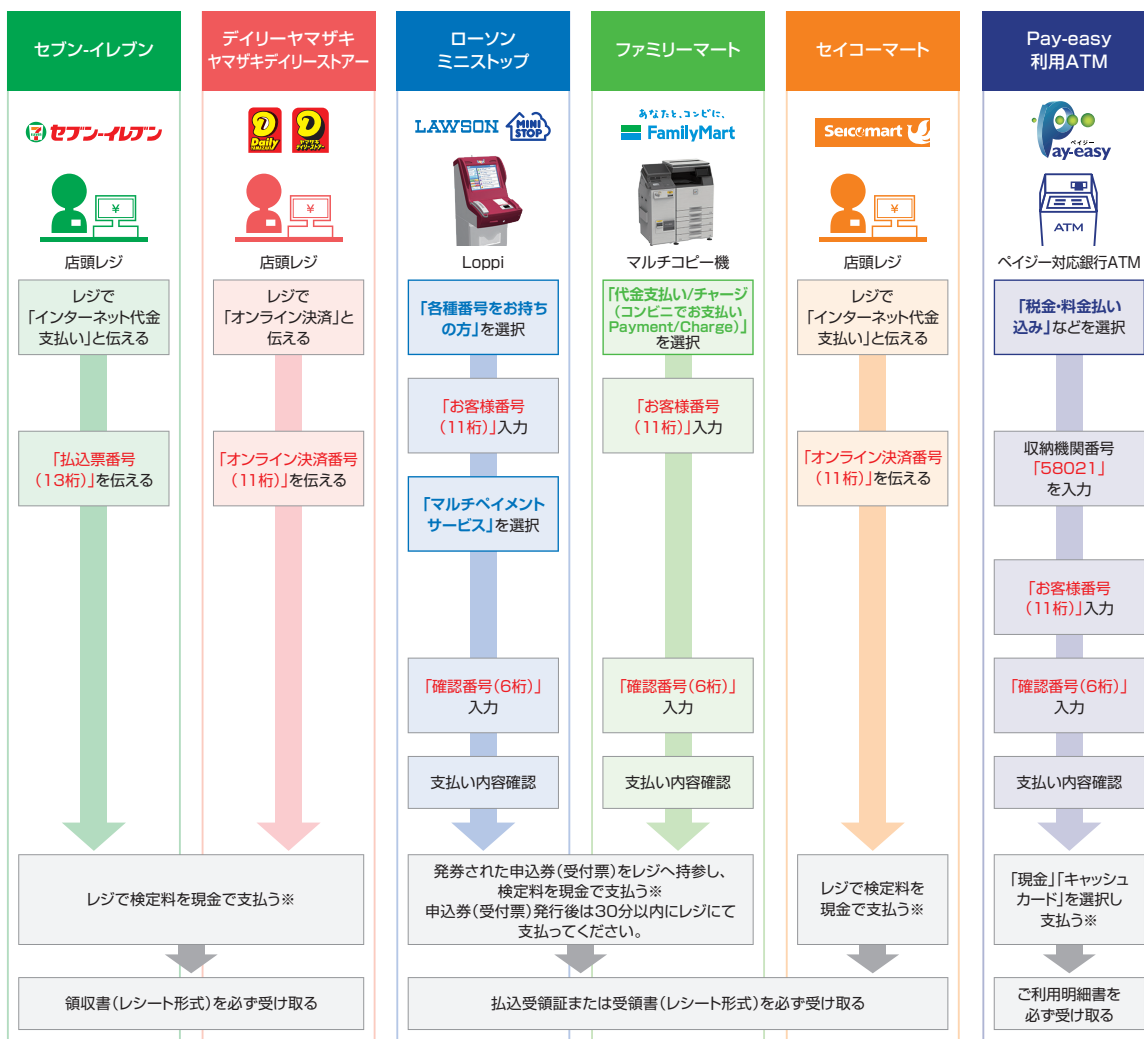
4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

3 コンビニエンスストア



※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

STEP

6

必要書類の印刷と郵送

出願登録、入学検定料の支払後にダウンロードできる書類を全て**カラー印刷**し、その他の必要書類と併せて出願期間内に郵便局窓口から「簡易書留・速達郵便」で郵送してください。

出願に必要な書類

⚠ 募集要項を必ず確認してください

- インターネット出願サイトから印刷する書類
志願票 写真票
- 本学研究科のホームページからダウンロードし、作成する書類
履歴書 など
- 出身大学等に発行を依頼する証明書
証明書



出願書類の郵送先は宛名シートに自動で印字されます。

出願書類提出用宛名シート

市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)
に貼り付けて作成

■出願書類

1回の出願登録につき各1部必要です。出願に必要な書類は学生募集要項を参照してください。

※一旦受理した入学検定料・必要書類は学生募集要項で明記しているものを除き一切返却しません。

〈出願完了〉

出願時の
注意点

出願はインターネット出願サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、必要書類を郵送して完了となります。インターネットでの登録が完了しても出願書類の提出期限に書類が届かなければ出願を受理できませんので注意してください。

それぞれの期限は各研究科の学生募集要項を参照してください。

インターネット出願は24時間可能です。必要書類の郵送は各募集要項で定められた時間内に行ってください。ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP

7

受験票の印刷

出願を受け付けた後、受験票の印刷が可能になりましたら、出願時に登録されたメールアドレスへ通知します。メールが届かない場合でも、試験前日までにインターネット出願サイトにログインし、各自で**A4用紙にカラー片面印刷**をして**試験当日に持参**してください。



受験票

氏名: ○○○○
入試: ×××入試

出願資格（９）により出願する者の個別審査について

1. 個別審査

出願資格（９）により出願する者は、あらかじめ次の書類を **2025 年 7 月 18 日（金）【必着】**で、本研究科へ郵送し（書留便で封筒の表に「個別審査願」と朱書）、出願資格の有無について個別審査を受けること。

- ① 個別審査願 [様式 6]
- ② 履歴書 [様式 7]
- ③ 研究実績調書 [様式 8]
- ④ 研究内容説明書 [様式 9]
- ⑤ 成績証明書（高校卒業の者は、それ以降のものをすべて提出すること。）
- ⑥ 返信用封筒（住所、氏名を明記した長形 3 号（23.5cm×12cm）のもの（410 円分の切手貼付））

本研究科で個別審査を実施し、その結果は 2025 年 7 月 25 日（金）頃に本人あて発送する。

2. 個別審査の結果、「出願資格有」と判定された者の出願手続等

出願書類に審査結果（通知）の写しを添えて、受付期間内に提出すること。ただし、出願書類のうち、すでに個別審査で提出している成績証明書は、不要である。

なお、個別審査の結果の通知から出願までの期間が短いので、出願書類は事前に準備しておくこと。

高度専門職業人養成コースへのご案内

名古屋大学大学院教育発達科学研究科

本研究科では、高度専門職業人養成コースを設け、多様な社会経験を有する方に、博士前期課程におけるより高度な学習の機会を提供しています。

本コースの入学者としては、主に教育諸機関の教職員、生涯学習施設の職員、美術館・博物館の学芸員、図書館の司書、国及び自治体等の専門職員、医療・福祉関係者および民間企業で人事・労務・マーケティング・製品開発等にたずさわっている社員など、教育・文化関連の職業に従事しておられる方々を想定しています。そのほかNPO、ボランティア活動、地域における市民活動等の社会的活動を3年以上経験された方々も本コースに出願することができます。

○開講形態

入学者の学習条件を考慮し、相当数の科目について平日夜間開講します。また土日集中、長期休暇中の集中等の形態で開講されることもあります。ただし、心理臨床研究コースについては、平日夜間の開講はありません。

○各研究コースと分野の説明

(1) 生涯学習研究コース（昼夜間開講）

人間の生涯にわたるさまざまな課題を総合的実践的に研究するための、教育臨床的な知識・技能を修得した高度職業人を育成するコースです。本コースは、「生涯学習開発」「学校科学臨床」「高等教育マネジメント」「生涯スポーツ科学」の4分野からなり、各分野ではさまざまなテーマを教育臨床的アプローチによって総合的全体論的に理解することを目指します。履修に関しては、共通基礎科目・コース専門科目・論文指導研究科目などを通じて、入学者の多様な関心・要望に応えるため、少人数の個別的指導や柔軟な履修形態を導入しています。

① 生涯学習開発分野

学校をはじめ、家庭、地域社会、職場における生活・文化・労働（技術）を通しての生涯にわたる人間形成・発達のメカニズムの究明と、それに関わるより意図的・組織的な教育システムのあり方を究明することを目的としています。特に人間形成・発達と教育を規定する文化的・社会的要因を歴史的・実証的に分析するとともに、学校内外の教育の社会的・国家組織的な機能と構造を個人の生涯にわたる教育権保障の視点から解明することにより、人間の発達過程に関わる文化・社会的な調査を含むフィールドワークを基礎に生涯にわたる人間形成のメカニズムを理論的に解明できる高度な資質をもった高度職業人を育成することを目的としています。

② 学校科学臨床分野

高度情報化社会の下で急速に変貌する学校教育の諸問題や、学習環境上の課題に直面している教育関係者を主な対象として、フィールド・スタディや授業分析をはじめ、教育科学の多様な臨床的・理論研究の方法を習得した上で、教育過程の構造的究明に求められる高度な学識を養うことを目的としています。

③ 高等教育マネジメント分野

少子・高齢化社会における高等教育改革の大きなうねりのなかで、高等教育マネジメントの専門化が要請されている折から、高等教育マネジメントを担当する職業人を対象に、より高度な理論的・実践的専門教育をおこない、高度な専門性を身につけた指導者を養成することを目的としています。

④ 生涯スポーツ科学分野

科学技術や情報技術の発展によって、私たちの生活はより便利に豊かになってきましたが、同時に、運動不足をはじめとする身体教育やスポーツ科学に関連づけられる諸問題も拡大・深刻化し、その対策が求めら

れています。この分野では、健康・体力、身体運動、スポーツ教育、スポーツマネジメントに関連する課題に直面している社会人を対象に専門教育を行い、課題解決にむけた高度な専門性を身につけた職業人の育成を目的としています。

（２）心理開発研究コース

① 心理行動科学分野

心理学を、人間に起因する種々の問題を解決するためのツール・ボックスにとらえ、その知識・技術を習得した高度職業人を養成するためのコースです。入学者自身が、社会人としての体験を基礎に、自己の問題意識を十分に持っていることを前提としますので、講義主体のカリキュラムになりますが、少人数のディスカッションを中心としたセミナーの開講も予定されています。さらに、他分野の講義の受講を通じて、高度職業人としての新たな教養のあり方も模索していきます。

② スポーツ行動科学分野

スポーツや身体運動、あるいは体育などにおける心と身体の問題に対して、スポーツ心理学、体育心理学、運動学習科学などの知識や技術を習得し、実践で活用できるような高度職業人を養成するコースです。これまでのスポーツ経験や指導経験を基に、明確な問題意識を持っている社会人を対象として、高度な専門性と能力を持ったスポーツや体育指導者などを養成することを目的としています。

（３）心理臨床研究コース

いじめ、不登校、自殺、家庭内での心理的問題等、「こころ」の問題に対応するための心理療法に関する高度な技術を有する専門職業人を養成するためのコースです。履修科目は、心理臨床基礎科目、演習・実習科目、修士論文指導の３領域からなり、心理臨床分野の総合的・全体的理解を図るものとなります。

履修に関しては、臨床トレーニング等の実習がかなりの部分を占めるため、昼間に十分な時間がとれることが前提になります。

研究コース及び研究分野一覧表

志望研究分野等一覧

各研究コースを受験する者は、どの分野を志望する予定であるかを下表のうちからひとつだけ選択し、「4. 出願書類」(2)の教育発達科学研究科志願票〔様式1〕の志望研究分野欄に記入すること。

また、生涯学習研究コースの受験者のうち生涯スポーツ科学分野を志望する者以外は、志望研究分野の担当教員の中から希望する指導教員を2名まで選択して教育発達科学研究科志願票〔様式1〕に記入すること。

なお、各分野の担当教員の研究活動等については、研究科のウェブサイト等を参照すること。

○生涯学習研究コース

(2026年4月1日時点)(予定)

研究分野	担当教員
生涯学習開発分野	吉川卓治 大森万理子 石井拓児 河野明日香 徐真真
学校科学臨床分野	柴田好章 坂本将暢 南部初世 Sarkar Arani Mohammad Reza 草薨佳奈子
高等教育マネジメント分野	生澤繁樹 服部美奈 内田 良 松本麻人 丸山和昭 加藤真紀 安部有紀子 安田淳一郎
生涯スポーツ科学分野	志望担当教員を記入する必要はありません

○心理開発研究コース

研究分野
心理行動科学分野
スポーツ行動科学分野

○心理臨床研究コース

研究分野
心理臨床科学分野

大学院入学試験結果の開示について

大学院入学試験の結果を下記により受験生に開示します。

1. 開示の対象

大学院入学試験に不合格となった者

2. 開示の方法

試験の成績を各科目百分率で示す

3. 開示請求

下記の書類等を添えて、試験後の2週間～2ヶ月以内に請求してください

- ・ 開示請求書（A4サイズ、受験番号、氏名、志望専攻名、受験年月を明記）
- ・ 受験票
- ・ 返信用長形3号（23.5 cm×12 cm）の封筒（住所・氏名を明記し、110 円分の切手を貼付したもの）

過去の入試問題の開示について

次の二方法により受験生に開示します。

1. 本研究科ウェブサイト上に掲載

既存の著作物の一部を問題に使用した部分は、ウェブサイト上での公開について著作権者の許諾を得ていないため非公開。出典文献名と使用箇所のみ公開。

2. 文系教務課（名古屋大学東山キャンパス 文系総合館1階）にて閲覧

既存の著作物の一部を問題に使用した部分も閲覧可。持出・コピー・撮影等は著作権者の許諾を得ていないため厳禁。

2025年度入学試験 志願者数・合格者数一覧

<博士前期課程>

		第1期		第2期	
		志願者数	合格者数	志願者数	合格者数
教育科学専攻		74	26	31	14
心理発達科学専攻	心理社会行動科学講座	9	3	10	3
	精神発達臨床科学講座	52	9	18	4
	スポーツ行動科学講座	3	2	0	0
高度専門職業人養成コース	生涯学習研究コース	6	2	4	3
	心理開発研究コース	0	0	0	0
	心理臨床研究コース	2	0	0	0
海外学位取得者特別選抜（心理発達科学専攻）	心理社会行動科学講座	0	0		
	スポーツ行動科学講座	0	0		

<博士後期課程>

			志願者数	合格者数
一般	教育科学専攻		13	9
	心理発達科学専攻	心理社会行動科学講座	4	4
		精神発達臨床科学講座	5	5
		スポーツ行動科学講座	0	0
社会人特別選抜	教育科学専攻		6	3
	心理発達科学専攻	心理社会行動科学講座	1	1
		精神発達臨床科学講座	0	0
		スポーツ行動科学講座	0	0
海外学位取得者特別選抜	心理発達科学専攻	心理社会行動科学講座	3	1
		精神発達臨床科学講座	1	1
		スポーツ行動科学講座	0	0
教育マネジメントコース	生涯学習マネジメント		1	1
	学校教育マネジメント		4	4
	高等教育マネジメント		2	1
心理危機マネジメントコース	心理危機マネジメント		8	4

不測の事態が発生した場合の諸連絡

災害や感染症の流行等により、試験日程や選抜内容等に変更が生じた場合は、以下のウェブサイト等により周知しますので、出願前や受験前は特に注意してください。

○入試情報ウェブサイト（名古屋大学大学院教育発達科学研究科・教育学部）

URL <https://www2.educa.nagoya-u.ac.jp/admission/>

○連絡窓口

文系教務課 TEL 052-789-2606

自然災害等により被災した入学志願者に係る検定料の特別措置について

自然災害等により被害に遭われた方々には、心よりお見舞い申し上げます。

名古屋大学では、被災者の経済的負担を軽減し、受験生の進学機会の確保を図るため、本入試の検定料免除の特別措置を実施いたします。

なお、詳細は本学ウェブサイトをご確認ください。

○本学ウェブサイト URL

<https://www.nagoya-u.ac.jp>

（入試案内＞入試情報を知りたい＞大学院入試＞検定料の特別措置（自然災害等による被災））